

自己評価報告書

(令和2年度 学校評価)

令和3年1月13日

学校法人 山口学園

長崎公務員専門学校

1. 教育理念・目的

本校は、主に国・地方公共団体のあらゆる分野に適応できる一般教養、専門知識及び社会性を身につけた人材を育成し、もって社会に貢献することを目的とする

2. 教育目標

- ①学生一人ひとりの夢実現を目指す
- ②高い倫理観と豊かな人間性をもった社会人の育成を目指す

3. 育成人材像

- ・主に国・地方公共団体のあらゆる分野に適応できる一般教養、専門知識を身につけている人
- ・高いコミュニケーション能力を有し、地域社会の一員として貢献することができる人
- ・地域および社会の問題を発見し、自ら考え、実践する力を有している人

4. 運営方針

- ①学生の満足度を向上させる
- ②教職員の満足度を向上させる
- ③保護者・地域からの信頼度を向上させる

5. 本年度の重点努力目標

- ①公務員試験一次合格率100%
- ②社会人としての意識や行動、基本的マナーの育成

6. 評価項目別取組状況

評語について

A 十分達成（達成率90%以上）、B 概ね達成（達成率90%未満～70%以上）、C 取り組まれているが成果が十分でない（達成率70%未満～50%以上）、D 取組が不十分である（達成率50%未満）

【1. 教育理念・目的、育成人材像】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
1-1	学校の理念・目的、 育成人材像は定めら れているか	<input type="checkbox"/> 理念・目的、育成人材像は文書化するなど明確に 定めているか <input type="checkbox"/> 育成人材像は、主な官庁の求める人材像に沿って いるか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、ホームページにおいて明記している。 ・主な官庁の求める人材像に沿っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則第1条(P1) ・ホームページ(学校の目的・概要)(P4) ・主な官庁のホームページ(P5-8)
1-2	学校の理念・目的、 育成人材像を学生・ 保護者・教職員等に 周知し、理解されて いるか	<input type="checkbox"/> 理念・目的等を学生・保護者・教職員等に周知 し、理解されているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、ホームページ、教室掲示板により、周知している。また、家族説明会において説明した(今年度の家族説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施した)。学生・保護者・教職員アンケート結果においても評価されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則第1条(P1) ・ホームページ(学校の目的・概要)(P4) ・学生・保護者・教職員アンケート1(P8-10)

【2. 学校運営】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
2-1	運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか	<input type="checkbox"/> 毎年度始めに具体的な事業計画書を作成しているか	A 昨年度 A	・毎年度始めに具体的な事業計画書を作成している。	・事業計画書(P11-15)
2-2	人事、給与に関する規程等は整備されているか	<input type="checkbox"/> 採用手続き、給与支給等に関する基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	A 昨年度 A	・就業規則に定め、全職員に公表した上で職員室に備え付け、適切に運用している。 ・人事考課規程に定め、全職員に公表した上で職員室に備え付け、適切に運用している。	・就業規則（第2章、第6章）(P16-28) ・人事考課規程(P29-31)
2-3	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	<input type="checkbox"/> 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A 昨年度 A	・ホームページの情報公開ページにおいて公開している。	・ホームページ（教育情報の公表）(P31-33)

【3. 教育活動】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
3-1	教育理念、教育目標に沿った教育課程を編成・実施しているか	<input type="checkbox"/> 教育理念、教育目標に沿った教育課程を編成・実施しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	A 昨年度 A	・様々な学生を受け入れるため、昼間部および夜間部にそれぞれ複数の学科を設け、学生が希望する進路への合格を支援できる教育課程を編成・実現している。 ・公務員試験の試験種別、科目別、担当者別に正答率を集計し、出題数や正答率から、各学科の授業時間数や開講科目について見直し、必要に応じて改定を行っている。	・科目一覧(別科含む) (P33-34) ・科目別正答率集計表(P35)

3-2	<p>課程修了認定の基準を明確にしているか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 課程修了認定の基準は学則等に規定するなど、明確にしているか</p> <p><input type="checkbox"/> 課程修了認定の基準を学生に理解させることが出来たか。</p> <p><input type="checkbox"/> 課程修了認定の基準を保護者に理解させることが出来たか。</p>	<p>A 昨年度 B</p>	<p>・成績評価、単位認定、課程修了認定の基準は学則に規定し、入学時のオリエンテーション時に周知している。</p> <p>・学則を学生に配付することに加え、ホームルーム等でも周知している。また学生アンケート結果においても評価されている。</p> <p>・家族説明会（教養重点科のみ）で卒業認定や単位認定に関する説明を行い、理解を得ている。また、保護者アンケート結果においても評価されている。</p>	<p>・学則 9-12 条、25 条 (P1-4)</p> <p>・学生アンケート 2 (P8)</p> <p>・保護者アンケート 3 (P10)</p>
3-3	<p>各科目の到達目標、授業計画、成績評価の基準等は明確にしているか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 各科目の到達目標、授業計画、成績評価の基準等は明確にしているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 各科目の到達目標、授業計画、成績評価の基準等を学生に理解させることが出来たか。</p>	<p>A 昨年度 - {今年度 追加}</p>	<p>・全科目のシラバスを作成し、到達目標、授業計画、成績評価方法および基準等を明記し、ホームページに公表している。</p> <p>・シラバスをホームページに公表することに加え、成績評価方法及び基準については、教科担当者も説明を行っており、学生アンケート結果においても評価されている。</p>	<p>・科目別シラバス (P35-37)</p> <p>・学生アンケート 3 (P8-9)</p>
3-4	<p>授業評価の実施・評価体制はあるか</p>	<p><input type="checkbox"/> 授業評価の実施・評価体制は整備されているか</p> <p><input type="checkbox"/> 授業評価の内容は、授業改善を計るためのものになっているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 教員は授業評価の結果を踏まえた、授業改善を行っているか。</p>	<p>A 昨年度 A</p>	<p>・全クラスで、授業科目ごとに授業内容に関するアンケートを実施している。</p> <p>・R2年度は評価項目をさらに見直し、教員の話し方、板書の見やすさ、教材の内容、満足度などの詳細な項目を追加した。集計結果を各教員にフィードバックし、具体的な授業改善ができるように努めている。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために行った動画配信授業についても、学生の視聴環境や授業科目ごとの評価、意</p>	<p>・授業評価アンケート (P37-38)</p> <p>・動画配信アンケート (P39-41)</p> <p>・教職員アンケート 10、11 (P10)</p>

				見等を問うアンケートを実施し、今後の改善に努めている。 ・各教員は、昨年度の学生アンケート結果を踏まえて改善を行っている。今年度の教職員アンケートでも、テキストのさらなる改善を今後の課題に挙げた教員が1名いたが、全体として改善に取り組んだと評価されている。	
3-5	教職員の資質向上のための取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 教職員に対し「目指すべき職員像」により、求められる資質が示されているか。 <input type="checkbox"/> 資質を向上させることが出来る取り組みが行われているか。	<p style="text-align: center;">C</p> <p style="text-align: center;">昨年度</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「目指すべき職員像」を作成し、求められる資質を示すことができた。 ・これまでどおり、人事考課表に基づく自己評価や賞与支給の際の学校長からの講評による、教職員自身の自主的な資質向上に取り組んだが、新たな資質向上のための取組を企画することはできなかった。しかしながら、新型コロナ感染拡大に伴い、動画配信による授業および家族説明会、感染予防対策をしながらの面接指導、LINEを活用した学生への情報伝達など、職員間でより良い方法を追求する中で、教職員の主体性や協調性という資質の向上に繋げることができた。 <p>(参考) 学校内外研修参加 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ運用セミナー (6名) <p>(主催：長崎県専修学校各種学校連合会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき職員像 (P42) ・人事考課表 (P42) ・動画配信範囲 (P43) ・動画URLリスト (P43-45)

3-6	業務の効率化が図られているか	<input type="checkbox"/> 組織として業務の効率化が図られているか <input type="checkbox"/> 各教職員が自身の業務について効率化を図っているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> 各職員が組織として業務の効率化を図っていることを実感している。また、教職員アンケート結果においても評価されている。 自身の業務について、効率化が図れるものについては、職員会議等で企画・提案出来るようにしている。また、提案する際には、現状の問題点や、目的、提案の内容を企画・提案書にまとめることで、効率的に協議を行うことが出来ている。その中で、共有したい情報を各自が随時・閲覧が可能な掲示板を作成したことで、情報共有を容易に行うことが可能になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員アンケート 22 (P10) R2企画提案一覧 (P45) 企画提案書(P46) NICS情報共有掲示板 (P47)
-----	----------------	---	---------------	--	--

【 4. 学修成果】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
4-1	目標とする1次合格率が達成できたか	<input type="checkbox"/> 昼間部 1次合格率100%は達成できたか	B 昨年度 B	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度行った受験結果を踏まえた分析により、進路相談の根拠としての精度を高め、模擬試験下位者には重点的な声掛け等も行ったが、昼間部の1次合格率は教養重点科が90.8%、上級科が83.3%で全体では88.5%にとどまり、昨年の91.0%に比べても十分達成したとはいえない。また、上級科では今年度の分析も例年に比べて遅れており、教養重点科と併せて早急に分析を進める予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス別合格実績 (P47)

4-2	目標とする突破率 (最終合格者数/1次合格者数)が達成できたか	<input type="checkbox"/> 昼間部突破率90%は達成できたか	B 昨年度 B	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取り組みとして、①本校面接対策冊子「面接の心構え」の改訂、②入学時からの面接担当の割り振り及び指導、③入学時の面接評価が特に低かった学生に対する面接担当教員のメンター指導を開始した。ただ、④学生同士で面接チェックを行えるような自主練習できる環境の整備は十分とは言えなかった。また、⑤予定していたグループワーク指導についても、全クラスでは行えなかった。その結果、昼間部突破率は昨年の67.4%から74.0%に上昇したものの、目標値の82.2%の達成率に終わった。 	・クラス別合格実績 (P47)
4-3	長欠及び成績不振による退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 長欠及び成績不振による昼間部退学・休学率3%以内は達成できたか <input type="checkbox"/> 長欠及び成績不振の要因、傾向、退学者数等を把握しているか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 長欠及び成績不振者への特別指導体制を図り、退学率の低減に取り組んでいるか	A 昨年度 B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度昼間部入学者数[*]177名中、長欠及び成績不振による退学者・休学者は3名であり、退学・休学率は1.7%であった。 ※令和元年11月及び令和2年4月の入学生・編入学生 ・指導経過記録、学生管理システムにより把握している。 ・指導経過記録は、データとして保存されている。 ・各担任によって、個別相談・指導、保護者との連絡がなされたが、更なる退学・休学率低減のため、組織としての指導体制を整備する必要がある。 	・相談・指導経過記録(P48-49)

【5. 学生支援】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
5-1	公務員採用試験に関する支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 受験に関する支援体制を整備し運用しているか <input type="checkbox"/> 関連する主官庁と連携体制を整備し運用しているか <input type="checkbox"/> 個別の相談に対応する体制を整備し運用しているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受験支援体制を整備し運用している。 ・ 官公庁と連携体制を整備し、ガイダンスを実施している。 ・ 願書内容・採用の変更点に関して情報共有し、担任だけでなく、職員全員が学生からの相談・質問に対応できる体制を整えており、学生アンケート結果においても評価されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受験支援体制一覧 (P49) ・ 官公庁ガイダンス実施手順 (P50-51) ・ 学生アンケート7、8、10 (P8-9)
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 学生に対して、相談しやすい環境を作っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存・情報共有しているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悩みや困りごとは担任が聞き取り、直接は言いにくい事などにも対応するため、意見箱を設置しており、学生アンケート結果においても評価されている。 ・ 「相談・指導経過記録」を作成、共有フォルダに保存・情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生アンケート8、9 (P8-9) ・ 相談・指導経過記録 (P48-49)
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応し、利用について学生に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業料分割納付制度を整備している ・ 日本学生支援機構の奨学金の募集は毎年実施しており、1年未満のコースの学生には国の教育ローンの紹介を行っている。今年度開始された高等教育の修学支援新制度についても案内した。いずれにおいても、利用についての相談にも適切に対応し、情報を提供している。 ・ 日本学生支援機構の奨学金利用について実績を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業料分割納入の取扱いに関する規程 (P52) ・ 高等教育の修学支援新制度案内 (P52-54) ・ 日本学生支援機構奨学金案内 (P54) ・ 国の教育ローン案内 (P55) ・ 日本学生支援機構

					奨学金利用者数 (P55)
5-4	障がい等を理由とする配慮希望者に対する支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 受け入れに当たっての体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 配慮を希望した内容に沿った支援を行っているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮希望者への対応をマニュアル化している。 ・配慮希望内容を文書と聞き取りにおいて把握し、対応している。※申請件数2 同意件数2 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮希望者への対応(P56) ・配慮希望申請書(P57) ・配慮内容協議・同意書(P57)
5-5	保護者と適切に連携しているか	<input type="checkbox"/> 報告書等で、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を、教養重点科の保護者に提供しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡先を把握しているか	A 昨年度 B	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の出欠状況、模擬試験成績、担任からのコメントを原則月1回保護者へ送付している。また、受験支援体制についての説明を、家族説明会（教養重点科のみ）で実施。さらに、SNS（インスタグラム等）を活用して情報発信している。 ・三者面談を実施しているほか、保護者あて報告書や家族説明会において、気軽に相談してくださるよう呼びかけている。また、保護者アンケート結果においても評価されている。 ・欠席が続く、遅刻早退が多い、成績不振などの学生については担任が保護者へ連絡し、状況把握、改善に努めている。保護者から相談がある場合には、面談等、個別対応をしている。 ・入学時「個人カード」を作成し、緊急連絡先を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あて報告書(P58) ・家族説明会資料（抜粋）(P58) ・本校SNSについて(P59) ・相談・指導経過記録(P48-49) ・保護者アンケート4、5、6(P10) ・個人カードの様式（緊急連絡先）(P59)
5-6	卒業生への支援体制はあるか	<input type="checkbox"/> 卒業後の公務員採用試験に関する支援体制は整備されているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後も公務員採用試験を受験する学生に対して模擬試験の案内を送付、また、ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験案内(P60) ・ホームページ(新着)

		<input type="checkbox"/> 就職後の悩み、相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 同窓会の活動状況を把握しているか		ジにおいて願書案内し、願書配付、提出できるようにしている。学生の状況や学歴などを考慮して担任が個別に連絡を取ることも行っている。 ・就職先での悩み、不安などの個別相談に対応している。 ・同窓会の理事会等に定期的に参加しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、理事会等は開催されていない。	情報・試験情報) (P61) ・相談・指導経過記録 (P61) ・長崎公務員専門学校同窓会会則 (P62) ・NICS同窓会活動計画 (P62)
--	--	--	--	---	--

【6. 教育環境】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備は、設置基準に適合しているか <input type="checkbox"/> 自習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	A 昨年度 A	・教室、パソコン室、質問室、面接室など必要な施設を備えている。 ・土日、放課後に利用できる自習室を整備しており、学生アンケート結果においても評価されている。 ・施設・設備等の定期点検を、教職員が年1回実施しており、補修が必要であった本館屋上の水漏れや2号館階段の手すり等については補修を行った。	・学生アンケート 11、12 (P8-9) ・施設設備等の安全点検チェックリスト集計表 (P63)
6-2	防災に対する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/> 法令に基づき、消防設備等の整備及び保守点検を行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校施設の耐震化の推進に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 災害発生時における具体的行動のマニュアルを整	A 昨年度 B	・法令に基づき消防設備点検を実施し、不具合箇所は適切に改善している。 ・本校施設のうち耐震化の努力義務となっている2号館については、現在建て替えを含めて耐震	・消防用設備等点検結果報告書 (P63-64) ・防災マニュアル

		備しているか □防災訓練を定期的実施しているか		強化を検討している。 本館：耐震診断及び耐震改修の努力義務なし 3号館・寮：新耐震基準により建設されているため、耐震化は不要 ・火災発生時と地震発生時の防災マニュアルを整備している。 ・年1回の自主訓練では、火災時及び地震時の避難を想定して実施している。 (令和3年3月実施予定)	(P65) ・避難訓練実施要領 (P66-69)
--	--	----------------------------	--	---	-----------------------------

【7. 学生募集】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	□高等学校及び大学における説明会に参加し学生に対して教育内容や教育成果等の情報提供を行っているか □高等学校及び大学の教職員に対して教育内容や教育成果等の情報提供を行っているか	A 昨年度 B	・新型コロナ感染拡大の影響もあり、予定されているガイダンス（説明会）が見送られることもあった。それでも可能な範囲で参加し、学生に情報提供を行うことが出来た。 (参考) ガイダンス（説明会） ・高校 参加回数 15回／参加人数 287人 ・大学 参加回数 4回／参加人数 360人 ・新型コロナ感染拡大の影響もあり、例年行っていた学校訪問は中止し、教育内容や教育成果等の情報は資料として送付した。今後の学校訪問についても感染拡大の状況次第で検討していく。 (参考) 学校訪問	・学校訪問一覧※高校(P69) ・高校進路ガイダンス参加一覧 (P70) ・大学訪問・進路ガイダンス一覧 (P70)

				<ul style="list-style-type: none"> ・高校 訪問回数 0回／学校数 0校 ・大学 訪問回数 1回／学校数 1校 	
7-2	学生募集活動において、教育内容（設置学科、課程修了要件、校納金等）や教育成果（一次合格率、突破率等）等の情報は正確に伝えられているか	<input type="checkbox"/> 学校説明会等において、教育内容や教育成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 学校説明会等において使用する資料は、正確にわかりやすく作られているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項にて教育内容を説明会資料にて一次合格率や突破率などの教育成果を正確に、分かりやすく紹介している。 ・学校説明会等において使用する資料は、適宜更新され、より正確で分かりやすいものになっている。 	・学校説明会資料（抜粋）(P71-74)
7-3	校納金は妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 校納金は妥当なものとなっているか	A 昨年度 A	・検討の結果、昨年から金額の変更はなく、昨年時点で妥当性は確認している。（R1年掲載）また、徴収する金額は全て募集要項にて明示している。	

【8. 財務】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか（事業活動収支計算書（公務員）における「経常収支差額」が収入超過であるか） <input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか（貸借対照表（公務員）における「負債の部合計」が、「現金預金額」に収まっているか）	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・収入超過であり、バランスがとれている。（経常収支差額：37,956,259円） ・収まっており、妥当な数値である。（現金預金：301,368,168円 負債の部合計：113,479,580円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動収支計算書 (P75-76) ・貸借対照表(P76-77)

8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか（事業活動収支計算書（公務員）における「基本金組入前当年度収支差額」の予算と決算の乖離が20%以内であるか） <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか	C 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算：26,538,709円 決算：37,923,790円 → 差異：11,385,081円（乖離：42.9%） 予算編成時の見込み以上に学生と寮生及び委託訓練受講生が増えたことによるもの。 ・ 行っている（5月に実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動収支計算書 (P75-76)
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施し、改善意見について記録して適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行っている（5/14監査実施） ・ 報告している（5/30理事会にて報告） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査報告書 (P77) ・ 理事会議事録 (P78)
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	<input type="checkbox"/> 財務情報についてホームページに掲載するなど公開に取り組んでいるか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ(法人情報) (P78)

【9. 法令等の遵守】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
9-1	関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	<input type="checkbox"/> 関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育法や専修学校設置基準に定められている規則を遵守し、所轄庁へ必要な書類の提出を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専修学校設置基準 (P79-83) ・ 学則 (P1-4) ・ 就業規則 (P16-28)

9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 個人情報を取得する場合、必要な手続きがなされているか <input type="checkbox"/> 個人情報を利用する場合、必要な手続きがなされているか <input type="checkbox"/> 個人情報の保管は適切に行われているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の適切な管理のために、個人情報保護規定を策定し、適切に運用している。 ・「個人情報の取り扱いについて」を入学生に配付している。 ・外部に公表する書類(合格者名簿等)に学生の個人情報を掲載する際には、利用目的を明示し個別に了承を得ている。 ・外部からの不正アクセスのみならず、学内においても不正な利用がなされないようユーザ権限に応じて実行できる機能を制限している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規定 (P83-86) ・個人情報の取り扱いについて (P87)
9-3	自己評価・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、実施規程及び実施要領を整備している。 ・6月開催予定であった学校関係者評価委員会は運用上の見直しを行い、開催しなかったものの、年間スケジュールに沿って実施した。 ・昨年の評価結果が十分でなかった評価項目を今後取り組むべき課題として定め、具体的な取り組み方法を明確にしたうえで、学校改善に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則第4条 (P1-4) ・学校評価実施規程 (P87-89) ・学校評価実施要領 (P89-90) ・令和元年度自己評価報告書(抜粋) (P90-91) ・研修実施要領 (P91)
9-4	自己評価・学校関係者評価結果を公開しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	A 昨年度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果は報告書を作成している。 ・ホームページにおいて公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価報告書(昨年分) (P92) ・ホームページ(学校評価) (P92)

【10. 社会貢献・地域貢献】

	評価項目	評価指標 (考え方・方針・目標)	自己 評価	判断理由 (実施状況やその成果等)	※根拠資料
10-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の教育資源を地域・関連業界等に開放しているか	A 昨年度 A	・学校の資源を開放する制度は整っていたが、長崎県からの受託事業を除いては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実績はなかった。	・受託事業実施資料 (P93)
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に支援・奨励しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの参加人数を学内で把握しているか	A 昨年度 A	・教職員に対する「ボランティア活動を奨励、支援していた」というアンケート項目の評価は低かったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「長崎防災サポーター」、「長崎市消防団ガイダンス」、「学校周辺の清掃活動」等、可及的に実施していた。 ・ボランティア活動状況一覧を作成し参加人数を把握することになっているものの、一部に把握していない活動もあった。	・ボランティア参加状況一覧 (P93) ・学生アンケート14(P8-9)、教職員アンケート7 (P10)
10-3	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	<input type="checkbox"/> 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	A 昨年度 A	・新型コロナウイルスの関係で進路ガイダンスの実実施回数が、昨年の14回から13回へと減少したものの、昨年と同等の評価に値する。	・高校進路ガイダンス参加一覧 (P70)

7. 本年度の総合的な評価結果

自己評価	理由
B 昨年度 B	<ul style="list-style-type: none"> ・36項目中31項目が“A：十分達成”で全体の86.1%を占めており、前年度の78.9%を上回り、全体としては各評価項目について十分達成しているとみることができる。 ・しかしながら、本校の存在価値である【4.学修成果】の全2項目が“B：概ね達成”だったことを鑑み、総合的な自己評価としては“B：概ね達成”だった。

8. 今後取り組むべき課題（改善策）

（1）学生に関する事項

課 題	具体的な取り組み方法
（評価項目4-1より） 昼間部 1次合格率100%の達成 参考：令和2年度 88.5% （2021年1月10日時点）	<ul style="list-style-type: none"> ・上級科については10月、教養重点科については1月末を目途に当該年度の1次合格率について、分析を行うこととし、入学試験、校内模擬試験等の成績と受験結果の相関関係、1次合格者と不合格者の傾向、科目別正答率などの情報から、必要に応じてカリキュラムや各科目における指導方法、進路相談の際の根拠資料などの見直しを行う。 ・長崎市などで導入されているSPI試験など、これまでとは異なる選抜方法についても対策授業・模擬試験を実施し、結果を分析してさらに効果的な対策をとる。 ・令和2年度から導入したメンター制度をさらに充実させるなど、担任を中心した模擬試験下位者への重点的な声掛けやアドバイス、指導、相談等の体制づくりを行う。 ・さらに、一般知能分野について、基礎学力が不足する学生を簡単な試験で抽出し、個別に対策を行う。

<p>(評価項目4-2より)</p> <p>昼間部突破率(最終合格者数/1次合格者数) <u>90%</u>の達成</p> <p>参考: 令和2年度 74.0% (2021年1月10日時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校面接対策冊子「面接の心構え」の効果的な活用法を見直し、学生がより体系的に自己分析をできるように、教材と面接対策授業、面接指導が連動した計画を立て、指導に取り組む。 ・引き続き、入学時から面接担当者を割り振り、学生が安心して相談し指導を受けることができる体制を整えていく。また職員間や担任との情報共有を徹底し、学生への気づきと声掛けに努めていく。 ・メンター制度の指導方法や内容を改善し、精度を高める。R3年度は「経過記録」を作成し、対象学生と担当者が具体的に目標設定や指導経過などを共有できるようにする。またこれらの情報を職員間でも共有し、お互いにサポートできるようにする。 ・昨年、十分に実施できなかった学生同士の面接教室の設備改善やグループワークの指導について、コロナ感染拡大防止に配慮しながら可能な範囲で実施していく。
<p>(評価項目4-3より)</p> <p>昼間部退学・休学率3%以内の達成</p> <p>参考: 令和2年度1.7% (2021年1月10日時点)</p> <p>令和2年度昼間部入学者数*177名</p> <p>長欠及び成績不振による退学者・休学者3名</p> <p>※令和元年11月及び令和2年4月の入学生・編入学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、各担任によって、個別相談・指導、保護者との連絡がなされているが、更なる退学・休学率低減のため、組織としての指導体制の整備をする。

(2) 教職員に関する事項

課 題	具体的な取り組み方法
(評価項目3-5より) 教職員の資質向上を行う。	・ 4月上旬 「目指すべき教職員像」に基づき、日常の業務や社会活動の中で、どのような場面でどのような態度や姿勢で取り組めばよいか示す。また、チェックリストを用いた自己評価を行い、現状どのような資質が不足しているか調査する。 ・ 5月～10月 不足する資質、さらに向上させるべき資質に対する研修プログラムを作成する。 ・ 11月以降 研修プログラムに従い、学内外での研修会開催・参加や公開授業などを行う。

(3) 保護者に関する事項

課 題	具体的な取り組み方法
ーなしー	